

# 第51回 DAPAカンファレンス 症例検討会 case72.

## 「前立腺肥大症による頻尿に 対する鍼治療の1症例」

2025年11月10日

清明院 松田信晴 竹下有

S(subjective) 主観的情報

O(objective) 客観的情報

## 【患者情報①】

患者：60歳代 男性 172cm 76kg BMI25.68

主訴：頻尿、難聴

医師の診断名：前立腺肥大症(クルミ大)、加齢性難聴

ADL：日常生活において特に不自由ないが、  
日中10回以上、夜間4～5回トイレで目覚めるため、慢性的な寝不足

介護度：なし

初診日：X年8月初旬

## 【患者情報②】

### 【家族歴】

- ・ 父：25年前に小脳出血で他界 母：5年前にパンを喉に詰まらせ誤嚥により他界
- ・ 姉：脳梗塞 脳家系ではない

### 【既往歴】

- ・ 6歳まで：小児喘息（記憶にないが入院歴あり）
- ・ 37歳：胃潰瘍 治りかけだったため、処置なし経過観察
- ・ 40歳：胸痛で救急搬送、心臓カテーテル検査異常なし
- ・ 46歳：鼻中隔湾曲症 局所麻酔手術 鼻血が出やすくなった
- ・ **53歳：前立腺肥大症**
- ・ 54歳：膵管内乳頭粘液性腫瘍・膵嚢胞・肝嚢胞（健康診断で指摘される）  
MRI・超音波で経過観察中
- ・ 55歳：胸痛発作、心電図で若干の虚血所見あり、ロスバスタチン(2.5mg,1錠)・  
フェブリク(20mg,1錠)・胸痛時ミオコールスプレー(胸痛時舌下に1噴霧)
- ・ 57歳：夜間胸痛が頻発、血管拡張薬ヘルベッサ(100mg,1錠)服用、以降症状改善
- ・ **57歳：膀胱癌** 経尿道的膀胱腫瘍切除術 再発なし6か月毎に経過観察受診
- ・ 60歳：高血圧(ミネブロ2.5mg,1錠)、**加齢性難聴(骨伝導集音器使用)**

【サブリ類】 なし

## 【服薬情報】

- ・ ハルナール0.2mg,1錠 （前立腺肥大症の排尿障害に対して）
- ・ アボルブ0.5mg,1錠 （前立腺肥大症の排尿障害に対して）
- ・ ミネブロ2.5 mg,1錠（降圧剤）
- ・ ヘルベッサーR100mg,1カプセル(胸痛に対して)
- ・ ロスバスタチンOD錠2.5mg,1錠(高脂血症薬)、フェブリク錠20mg,1錠(高尿酸血症薬)
- ・ 煎じの 漢方薬(左下肢の冷感に対して)  
※内科の漢方専門医により処方（処方名は不明）

## 【服薬と主訴の変遷】

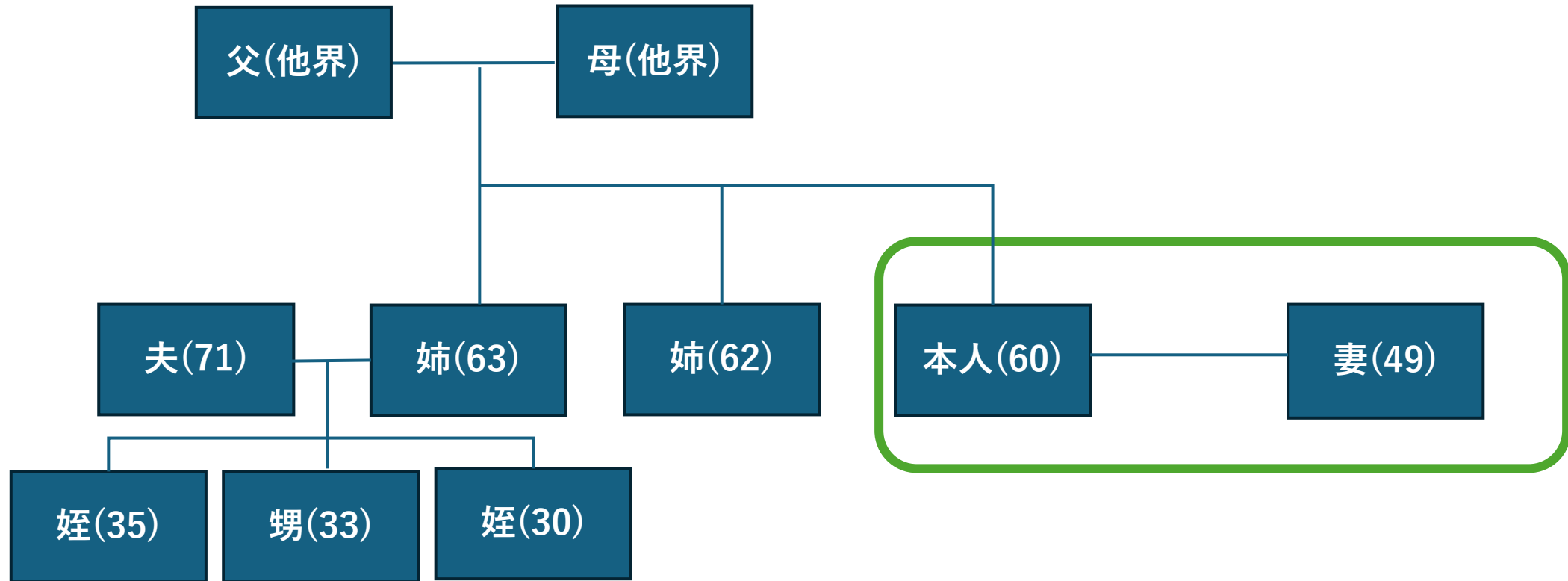
- ・薬はX-1年12月に前立腺がやや大きくなった時に前立腺を小さくする作用のあるアボルブ0.5mg,1錠追加される。
- ・以降2種類服薬しており、前立腺が大きくなった際には、尿切れ、残尿感が悪化しており、追加した薬を半年服用し前立腺が小さくなり尿切れ、残尿感は発症時に戻り、以降不変となる。
- ・同じ薬を服用している理由は、飲んでいないと悪くなるのではないかとということで続けている。

## 【生活歴】

- ・ **飲食**：肉、魚、甘味を好むが食事内容は偏りのない食事  
30代～よくチョコやあんこなどの甘味を食べていた  
水分摂取量 2 L/日、内容は麦茶や緑茶など
- ・ **嗜好品、アルコール**：30代～ほぼ毎日飲酒あり、喫煙無し
- ・ **運動習慣**：週に1回アクアビクス、散歩
- ・ **生活環境**：妻と2人暮らし 元警察官
- ・ **医療機関**：半年に一度膀胱癌の経過観察のために受診

## 【患者情報③】

## 【ジェノグラム】



※  は、同居を示す。

※父：25年前小脳出血で他界

母：5年前誤嚥により他界

※姉弟仲は良い

## 【現病歴①】

**X-7年 主訴（頻尿）発症 53歳**

発症前3年間、当直30時間・仮眠2時間という期間がありかなり忙しく、また部下の不始末の後処理も多く休みもあまりなかった。寝不足、肉体疲労、飲酒量が増えていた。

発症1年前からやや尿の出にくさはあったが、頻尿ではなかった。（5～7回/日）

**前立腺肥大症**と診断されてから尿の出にくさに加え、残尿感、回数増加、切れの悪さ、尿勢（±）となった。※排尿：日中10回以上、夜間4～5回1時間半おき

**以降、薬（ハルナール0.2mg,1錠、アボルブ0.5mg,1錠）を服用するも現在まで主訴は横ばい。**

## 【現病歴②】

X-3年4月 57歳

膀胱癌が発症し、経尿道的膀胱腫瘍切除術を受ける

膀胱癌手術後から排尿回数不変だが、出づらさ・残尿感が悪化する

また手術直後から左下肢（膝～足趾）のしびれ、冷感が出現する

現在しびれは消失したが、冷感（特に三陰交周辺）と範囲は狭まっているものの程度不変

## 【現病歴③】

**X-1年12月 59歳**

ここ1~2年トイレまで我慢できず少し下着を濡らす程度だが、尿を漏らすことが増えていた。

大きな事件を抱えており、会議や捜査が増え工作中トイレを我慢することが多くなり、トイレに間に合わず漏らすことが増えていた。

退職後は、いつでもトイレに行けることから尿漏れはなくなった。

**定期検査で前立腺は少し大きくなっている。排尿回数不変、残尿感・尿切れ・尿勢悪化。**（X年5月の検診時には小さくなっていると言われている。大きい時よりも回数不変、その他多少楽）

# 東洋医学的頻尿、夜間多尿の考え方

- ・ **小便頻数**とは、尿の回数が明らかに増加することをいい、甚だしければ1日に数十回にも達する。尿頻ともいう。昼夜の変化はない。
- ・ **夜間多尿**は、夜間のみ尿の回数や量が増加することである。一般に2～3回以上あるいは1日の1/4を超えるものをいう。

| 症候 | 分類   | 治法   |
|----|------|------|
| 頻尿 | 膀胱湿熱 | 清熱利湿 |
|    | 腎陰虚  | 滋陰降火 |
|    | 腎氣不固 | 温補腎陽 |
|    | 肺脾氣虚 | 温肺健脾 |

| 症候   | 分類   | 治法   |
|------|------|------|
| 夜間多尿 | 腎陽虚  | 温補腎陽 |
|      | 脾腎陽虚 | 脾腎双補 |

『症状による中医診断と治療上巻』より一部抜粋  
(頻尿：P706～708、夜間多尿：P715～716)

## 【初診時の東洋医学的情報】

**飲食:**3食/日、奥様にバランスの良い食事を作ってもらっている

**二便:**大便:1回/日、やや軟便、臭いややあり、残便感なし。

**小便:**10～15回/日、淡黄～濃黄

**睡眠:**9時間/日、熟睡感あり、睡眠薬無し、夕食後の眠気あり

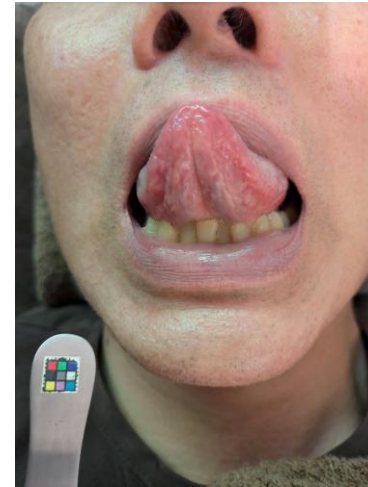
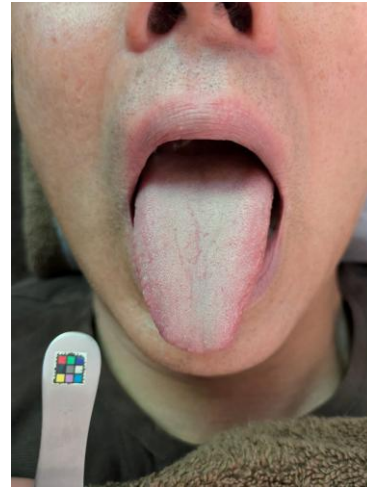
**脈診:**沈、按じて弦滑、脈力脈幅重按有り

**舌診:**色:舌背・舌腹ともに紅～暗紅、舌苔:白苔

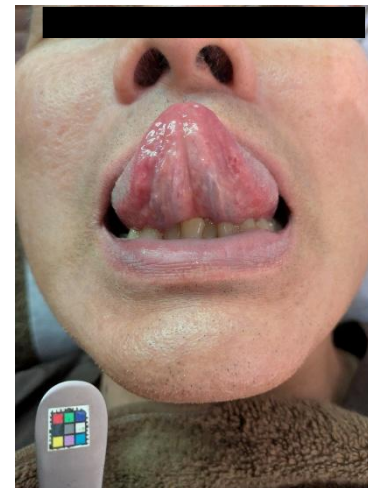
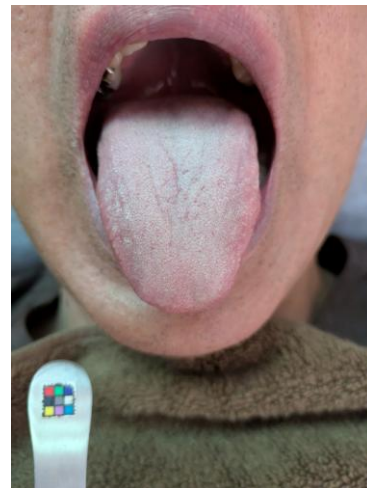
**腹診:**胸脇苦満(左>右)、小腹不仁、左少腹急結

# 【X年8月初診時の治療前後の体表所見】(初診時の配穴は左後溪)

治療前



治療後



# 【治療】

**弁証：心肝気鬱＞腎虚、湿熱**

**八綱弁証：裏・熱・実＞虚**

**配穴：後溪、膈俞、照海、不容など**

1回の治療で使用する経穴は1穴

**処置内容：**鍼のみ、状況に応じて補瀉法を施す。

**得気：**有

**通電：**無

**マッサージ：**なし

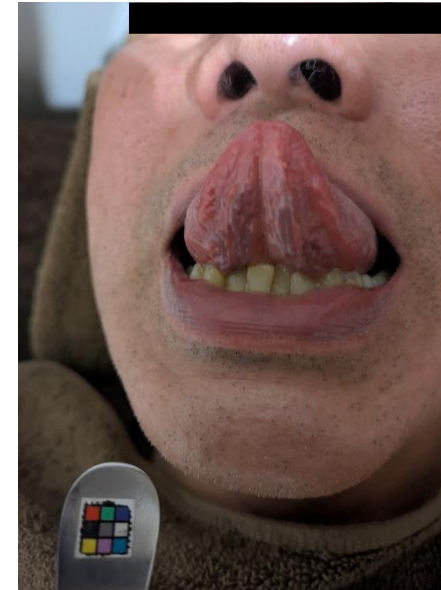
**頻度：**週1回、治療時間は50分程度

# 【X年10月の治療前後の体表所見】

O(objective) 客観的情報

(8診目の配穴は左不容)

治療前



治療後



## 【治療経過①】

### ・ X年8月 2診目

初診治療後から日中のトイレが半分に減少(5～6回)、夜間は3回、  
全体として4分の1程度減少  
左下肢の冷えは、10段階中7 難聴は不変

### ・ X年8月 3診目

排尿回数15回の日はなくなった。夜間も3時間おきで2回に減少。  
左下肢の冷え横ばい、難聴少し良い(集中しなくても聴こえる)

## 【治療経過②】

### ・ X年8月 4診目

排尿回数10回以下/日になる。 治療開始前より熟睡でき、起床後の疲労感も減少している。左下肢の冷え10段階中3~4

### ・ X年8月 5診目

夜間尿1回（5：00台のみ）に減少する。 10回以下/日は継続。

難聴改善傾向（今まで聴こえなかった洗濯機の終了音が聴こえるようになった） 10段階中4~5

## 【治療経過③】

### ・ X年9月 6診目

夜間2回(2：00前後、4：00～5：00)になる。尿勢はまだまだが、  
残尿感がだいぶ減少した。

仕事の件数が多く肉体疲労が強かった。

### ・ X年9月 7診目

夜間尿1回増え3回に戻る。（23：30の排尿が戻る）  
残尿感なくなる。排尿後下着を汚すことがなくなる。

友人や親せきと飲みに行くことが多く、飲酒量が増えていた。  
下肢の冷えが少し戻る(10段階中5)。

## 【治療経過④】

・ X年10月 8診目

夜間尿1回減り2回に戻る。残尿感はないまま、尿勢が少し出てきて、尿切れの良さを実感する。

テレビをみてストレッチポールを使い首のストレッチをしたところ、首肩コリが出現する。（左＞右）

やっぱり週に1回は鍼やってないと戻りますね、と鍼治療に前向きな発言がある。

## 【考察】

- ・ 今回、奥様の紹介であり、初診の段階では、本人は鍼治療に対しての期待はあまりなかった。ただ、初診である程度効果が出たため、継続治療につながっていると考えています。
- ・ 肉体疲労が強い場合、飲み会が多く飲酒量が多い場合に悪化する傾向があることから、その都度虚実の主従を判断して治療をしていましたが、あまり自分から積極的に生活改善に取り組むのが苦手な方に対してどの程度養生指導をしてよいか難しいところでした。
- ・ また、初診時に一般に用いられる国際前立腺症状スコア、QOLスコアを用いて確認しても良かったと反省しております。

# 【参考資料】

『男性下部尿路症状・前立腺肥大症診療ガイドラインP84』より抜粋

## 国際前立腺症状スコア（IPSS）

| どれくらいの割合で次のような症状がありましたか                     | 全くない | 5回に1回の割合より少ない | 2回に1回の割合より少ない | 2回に1回の割合くらい | 2回に1回の割合より多い | ほとんどいつも |
|---------------------------------------------|------|---------------|---------------|-------------|--------------|---------|
| この1か月の間に、尿をしたあとにまだ尿が残っている感じがありましたか          | 0    | 1             | 2             | 3           | 4            | 5       |
| この1か月の間に、尿をしてから2時間以内にもう一度しなくてはならないことがありましたか | 0    | 1             | 2             | 3           | 4            | 5       |
| この1か月の間に、尿をしている間に尿が何度もとぎれることがありましたか         | 0    | 1             | 2             | 3           | 4            | 5       |
| この1か月の間に、尿を我慢するのが難しいことがありましたか               | 0    | 1             | 2             | 3           | 4            | 5       |
| この1か月の間に、尿の勢いが弱いことがありましたか                   | 0    | 1             | 2             | 3           | 4            | 5       |
| この1か月の間に、尿をし始めるためにお腹に力を入れることがありましたか         | 0    | 1             | 2             | 3           | 4            | 5       |
|                                             | 0回   | 1回            | 2回            | 3回          | 4回           | 5回以上    |
| この1か月の間に、夜寝てから朝起きるまでに、ふつう何回尿をするために起きましたか    | 0    | 1             | 2             | 3           | 4            | 5       |

IPSS \_\_\_\_\_点

## QOLスコア

|                                 | とても満足 | 満足 | ほぼ満足 | なんともいえない | やや不満 | いやだ | とてもいやだ |
|---------------------------------|-------|----|------|----------|------|-----|--------|
| 現在の尿の状態がそのまま変わらずに続くとしたら、どう思いますか | 0     | 1  | 2    | 3        | 4    | 5   | 6      |

QOLスコア \_\_\_\_\_点

IPSS重症度：軽症（0～7点）、中等症（8～19点）、重症（20～35点）

QOL重症度：軽症（0、1点）、中等症（2、3、4点）、重症（5、6点）

## QOLスコア：

現在の排尿状態に対する患者自身の満足度を示す指標

## 国際前立腺症状スコア：

下部尿路症状に対して、重症度診断、治療選択、治療効果の判定に使用される。

## 【参考論文、参考資料】

① 良性前立腺肥大症の男性における下部尿路症状に対する電気鍼治療:  
ランダム化比較試験のための研究プロトコル

<https://bmjopen.bmj.com/content/14/7/e080743.long>

② 良性前立腺肥大症の電気鍼治療:症例報告

<https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S1550830722001306?via%3Dihub>

③ 男性下部尿路症状・前立腺肥大症診療ガイドライン 日本泌尿器科学会編